

運送会社に1億3000万円の賠償命じる 正面衝突、母娘死亡事故

前方を十分注視せず、道路状況に応じたハンドル操作をしないまま進行

2014/12/18

昨年5月、香川県でトラックと正面衝突した乗用車の女性(当時25歳)と長女(同3カ月)が死亡した事故で、女性の夫ら遺族3人が、トラックを運転していた男(64)の勤務先だった運送会社に約1億6000万円の損害賠償を求める訴訟の判決が17日、地裁であった。裁判長は、運送会社の使用者責任を認め、約1億3000万円の支払いを命じる判決を言い渡した。裁判長は「(男は)前方を十分注視せず、道路状況に応じたハンドル操作をしないまま進行した過失で事故を発生させた」と男の過失を指摘し、勤務先の運送会社の賠償責任を認めた。判決によると、昨年5月14日午前9時40分ごろ、香川県の国道でトラックを時速約50キロで運転中、対向の乗用車に衝突。乗っていた女性と長女を死亡させた。運転手の男は自動車運転過失致死などの罪で昨年9月、禁錮4年の実刑判決を受けた。

◆スリップ事故注意◆

峠・橋の上・日陰・トンネルの出入り口 交差点手前、滑って交差点内で衝突！注意

荷台からの転落、手足の挟まれ事故に注意！

バック時は 降りて確認 乗っても確認

2時間ごとに、15分休憩！

追突、玉突き事故を防ぐ
交差点手前で止まる時は、車1台分のスペースを空けて止まる

交差点 「右左確認／よ～し！」

赤信号交差点、停止寸前の車両に追突事故注意

物流網寸断、品切れ店続出 北海道暴風雪

小売、飲食業に混乱

◆品物があるのは当たり前だと思っていた…、物流の大切さ◆

(12/19 07:00)

16日午後から続いた暴風雪は、道内の小売業や飲食業にも混乱を及ぼした。物流網の寸断で道東を中心に商品が納入されず品薄となる店舗が続出し、閉店時間を早める店も相次いだ。「2日間も納品がなかったのは店を開いて20年で初めて」という。スーパーの担当者は「今回は迂回(うかい)路も通行止めとなるケースが相次いだ。ここ10年ほどで、ここまで納入が滞ったことはない」と驚く。

スリップ、はみ出し トラックと正面衝突、死亡

[2014/12/18 19:57]

18日午後2時ごろ、岩手県の県道で、軽ワゴン車がトラックに衝突し、軽ワゴン車を運転していた82歳の男性が死亡した。男性は、軽ワゴン車を運転中、対向車線にはみだし、前からきたトラックと衝突した。事故当時、路面は雪がシャーベット状になっており、警察では、男性の車がスリップした可能性が高いとみて事故の原因を調べている。

雪で滑り出した？ トラックと柱にはさまれ重体

2014年12月18日(木)12時12分

18日午前9時頃、名古屋市で、男性が無人のトラックと民家のガレージの柱に挟まれているのを付近住民がを見つけ、119番した。男性は意識不明の重体。現場は積雪約5センチで、路面は一部凍っていたという。トラックは後輪にチェーンを巻き、サイドブレーキも引いていたというが、坂道に停車したため滑り出したとみられる。警察の発表によると、男性はこのトラックの運転手。事故当時はリフォーム作業の資材を運ぶため車外で作業していた。